2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月23日

上場会社名　岩井コスモホールディングス株式会社　上場取引所　東
コード番号　8707　ＵＲＬ　https://www.iwaicosmo-hd.jp
代表者　（役職名）代表取締役会長 CEO　（氏名）沖津　嘉昭
問合せ先責任者　（役職名）代表取締役社長 COO　（氏名）笹川　貴生　ＴＥＬ　06-6229-2800
半期報告書提出予定日　2026年11月６日　配当支払開始予定日　2026年11月20日
決算補足説明資料作成の有無：　有
決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	18,141	25.5	17,902	25.3	7,906	44.3	8,237	42.4	6,320	36.8
2026年３月期中間期	14,458	12.7	14,285	12.4	5,478	28.0	5,784	25.6	4,619	45.1

（注）包括利益 2027年３月期中間期　7,607百万円　（60.4%）　2026年３月期中間期　4,743百万円　（108.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	269.09	－
2026年３月期中間期	196.67	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	242,433	78,027	32.2
2026年３月期	213,027	74,295	34.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　78,027百万円　2026年３月期　74,295百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	60.00	－	165.00	225.00
2027年３月期	－	65.00			
2027年３月期（予想）			－	－	－

（注１）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
（注２）当社は、定款において期末日及び第２四半期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	25,012,800株	2026年３月期	25,012,800株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,524,150株	2026年３月期	1,524,075株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	23,488,698株	2026年３月期中間期	23,488,841株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績・配当予想額については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10
３．補足情報 …… 12
（１）受入手数料 …… 12
（２）自己資本規制比率 …… 13
（３）連結損益計算書の四半期推移 …… 14

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、物価高や海外経済の不確実性などの影響を受けつつも、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

また、海外経済は、米国を中心に好調な企業業績が支えとなり堅調に推移したものの、中東情勢など地政学リスクの高まりや米国の通商政策を巡る不確実性の増大により、先行き不透明な状況が続きました。

こうした経済環境のもと、国内株式市場は、米国とイランの停戦交渉に関する報道を受けて投資家心理が改善したことに加え、ＡＩ（人工知能）・半導体関連銘柄の株価上昇が市場を牽引し、日経平均株価は４月下旬に６万円を突破しました。６月に入り、米国の雇用統計が市場予想を上回ったことから、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）による利上げ観測が強まり、株式市場は一時的にリスク回避姿勢を強めました。しかし、その後は、米国とイランによる戦闘終結合意が好感されたほか、ＡＩ・半導体関連企業への成長期待から株式市場は再び活況を取り戻し、６月中旬の日経平均株価は、６万円を達成した４月下旬から約２カ月で７万円の大台に乗せました。７月に入り、ＡＩ・半導体関連銘柄を中心に軟調な展開となり、日経平均株価は６万円台前半まで下落する局面も見られましたが、８月には、良好な企業業績を背景に回復基調を辿りました。９月に入ると、中東情勢の悪化や世界的な金利上昇を嫌気して軟調な展開となり、９月末の日経平均株価（終値）は、66,753円72銭（対前期末比30.7％上昇）で取引を終えました。

一方、米国株式市場は、米国とイランによる２週間の停戦合意などにより中東情勢への過度な警戒感が和らぎ、株価は上昇基調で推移しました。５月に入ると、エネルギー輸送の要衝であるホルムズ海峡の長期封鎖懸念を背景に原油価格が上昇し、インフレへの警戒感の高まりから、株価は軟調に推移したものの、主要なＡＩ・半導体関連企業の決算内容が好感されたことで、回復に転じました。７月に入り、ＡＩ関連投資の採算性が不安視され下落する局面も見られましたが、８月には、米国主要企業の良好な業績を背景に再び上昇し、ダウ工業株30種平均は最高値を更新しました。９月に入り、ＦＲＢが３年ぶりに利上げを決定したことに加え、中東情勢の緊迫化に伴う原油高やインフレ懸念から株価は軟調に推移し、９月末のダウ工業株30種平均（終値）は、50,906ドル05セント（対前期末比9.8％上昇）で取引を終えました。

当社グループの中核事業を担う証券営業部門は、お客様の収益機会の最大化とリスク分散の観点から、海外金融資産をお客様の資産運用の一つに組み入れて頂くことが重要と捉え、世界経済をリードする米国株式の提案営業に引き続き注力しました。また、投資信託の営業活動においては、投資初心者向けの低リスク商品から、先端技術や革新的なビジネスを展開する企業を投資対象としたファンドまで、多様化する投資ニーズに合致する商品の取り扱いに継続して取り組みました。

加えて、一層の企業知名度向上及び営業活動の支援を目的に、各部店の営業担当者が「私たちに、おまかせください！」と力強くメッセージを発信するテレビＣＭを放映いたしました。

このように、顧客サービスの向上と収益拡大に向けた施策に注力した結果、当社グループの営業収益は181億41百万円（対前年同期比25.5％増加）、純営業収益は179億２百万円（同25.3％増加）となりました。また、販売費・一般管理費は99億96百万円（同13.5％増加）、経常利益は82億37百万円（同42.4％増加）、親会社株主に帰属する中間純利益は63億20百万円（同36.8％増加）となりました。

なお、当第２四半期（中間期）累計時点において、営業収益、純営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は過去最高となりました。

主な収益と費用の概況は、以下のとおりであります。

（受入手数料）

受入手数料は58億54百万円（対前年同期比28.2％増加）となりました。内訳は以下のとおりであります。

①委託手数料

委託手数料は、株券委託手数料を中心に36億52百万円（対前年同期比37.8％増加）となりました。

②引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料は、株券の手数料が12百万円（対前年同期比29.8％増加）となりました。一方、債券の手数料は２億71百万円（同94.7％増加）となり、同手数料全体では２億83百万円（同90.6％増加）となりました。

③募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に１億53百万円（対前年同期比41.9％減少）となりました。

④その他の受入手数料

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に17億65百万円（対前年同期比17.3％増加）となりました。

（トレーディング損益）

株券等トレーディング損益は101億63百万円の利益（対前年同期比21.9％増加）となりました。一方、債券等トレーディング損益は72百万円の利益（同42.2％減少）となり、その他のトレーディング損益５百万円の損失（前年同期は18百万円の損失）を含めたトレーディング損益の合計は102億30百万円の利益（対前年同期比21.2％増加）となりました。

（金融収支）

金融収益は、信用取引収益及び受取利息を中心に20億56百万円（対前年同期比41.9％増加）となりました。一方、金融費用は２億38百万円（同37.3％増加）となり、差し引き金融収支は18億18百万円（同42.6％増加）となりました。

（販売費・一般管理費）

販売費・一般管理費は、業績に連動する賞与等の変動費の増加を主因として99億96百万円（対前年同期比13.5％増加）となりました。

（営業外損益）

営業外損益は、受取配当金を中心に３億30百万円の利益（対前年同期比8.3％増加）となりました。

（特別損益）

特別損益は、投資有価証券売却益の計上を主因に10億64百万円の利益（対前年同期比20.4％増加）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は2,424億33百万円となり、前連結会計年度末に比べて294億６百万円増加しました。主な要因としては、預託金が224億20百万円、信用取引資産が37億92百万円、それぞれ増加したことが挙げられます。

一方、負債合計は1,644億５百万円となり、前連結会計年度末に比べて256億74百万円増加しました。主な要因としては、預り金が257億11百万円増加したことが挙げられます。

純資産合計は780億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて37億31百万円の増加となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績・配当予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金・預金	8,161	9,277
預託金	110,275	132,696
顧客分別金信託	104,500	126,000
その他の預託金	5,775	6,696
トレーディング商品	2,226	2,209
商品有価証券等	2,214	2,205
デリバティブ取引	12	4
約定見返勘定	632	1,144
信用取引資産	63,372	67,165
信用取引貸付金	62,359	66,297
信用取引借証券担保金	1,012	868
有価証券担保貸付金	340	204
借入有価証券担保金	340	204
立替金	1,161	852
短期差入保証金	7,416	7,232
未収収益	1,428	1,744
その他の流動資産	229	434
貸倒引当金	△6	△6
流動資産計	195,239	222,955
固定資産		
有形固定資産	1,570	1,450
建物	271	269
器具備品	752	637
土地	541	541
その他	4	1
無形固定資産	23	7
ソフトウエア	23	7
その他	0	0
投資その他の資産	16,193	18,019
投資有価証券	14,578	16,480
長期差入保証金	716	721
繰延税金資産	841	768
その他	183	174
貸倒引当金	△126	△125
固定資産計	17,787	19,477
資産合計	213,027	242,433

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	718	930
商品有価証券等	716	926
デリバティブ取引	1	4
信用取引負債	17,329	18,964
信用取引借入金	12,263	14,075
信用取引貸証券受入金	5,066	4,889
有価証券担保借入金	4,081	2,976
有価証券貸借取引受入金	4,081	2,976
預り金	57,079	82,790
顧客からの預り金	42,642	41,115
その他の預り金	14,437	41,675
受入保証金	40,236	39,621
短期借入金	5,400	5,400
未払法人税等	3,794	3,151
賞与引当金	2,371	2,472
その他の流動負債	1,507	1,239
流動負債計	132,519	157,547
固定負債		
社債	2,000	2,000
繰延税金負債	3,161	3,668
その他の固定負債	427	430
固定負債計	5,589	6,099
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	622	759
特別法上の準備金計	622	759
負債合計	138,731	164,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	4,890	4,890
利益剰余金	53,247	55,692
自己株式	△1,703	△1,703
株主資本合計	66,438	68,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,857	9,144
その他の包括利益累計額合計	7,857	9,144
純資産合計	74,295	78,027
負債・純資産合計	213,027	242,433

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業収益		
受入手数料	4,567	5,854
委託手数料	2,649	3,652
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	148	283
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	263	153
その他の受入手数料	1,505	1,765
トレーディング損益	8,441	10,230
株券等トレーディング損益	8,335	10,163
債券等トレーディング損益	124	72
その他のトレーディング損益	△18	△5
金融収益	1,448	2,056
営業収益計	14,458	18,141
金融費用	173	238
純営業収益	14,285	17,902
販売費・一般管理費	8,806	9,996
取引関係費	974	1,212
人件費	4,949	5,835
不動産関係費	716	743
事務費	1,426	1,555
減価償却費	330	177
租税公課	268	306
その他	140	164
営業利益	5,478	7,906
営業外収益		
受取配当金	264	291
寮・社宅の受取家賃	30	30
その他	33	31
営業外収益計	327	353
営業外費用		
投資事業組合運用損	12	21
その他	10	1
営業外費用計	22	22
経常利益	5,784	8,237
特別利益		
投資有価証券売却益	881	1,201
金融商品取引責任準備金戻入	1	－
特別利益計	883	1,201
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入れ	－	137
特別損失計	－	137
税金等調整前中間純利益	6,667	9,301
法人税、住民税及び事業税	2,164	2,992
法人税等調整額	△116	△11
法人税等合計	2,048	2,980
中間純利益	4,619	6,320
親会社株主に帰属する中間純利益	4,619	6,320

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	4,619	6,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	1,287
その他の包括利益合計	123	1,287
中間包括利益	4,743	7,607
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	4,743	7,607

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金・預金勘定	8,494百万円	9,277百万円
金融商品取引責任準備金預金	△600	△700
預入期間が３ヶ月を超える定期預金	△1,000	△1,500
現金及び現金同等物	6,894	7,077

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	岩井コスモホールディングス株式会社	岩井コスモ証券株式会社	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	1	14,448	14,449	9	14,458
受入手数料	－	4,558	4,558	9	4,567
トレーディング損益	－	8,441	8,441	－	8,441
金融収益	1	1,447	1,448	－	1,448
セグメント間の内部営業収益又は振替収益	2,840	12	2,853	123	2,976
計	2,841	14,461	17,302	132	17,435
セグメント利益	2,979	5,582	8,561	22	8,584

(注)「その他」の区分は、証券等バックオフィス事業を営んでいる「岩井コスモビジネスサービス株式会社」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,561
「その他」の区分の利益	22
セグメント間取引消去	△2,800
中間連結損益計算書の経常利益	5,784

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	岩井コスモホールディングス株式会社	岩井コスモ証券株式会社	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	12	18,118	18,130	10	18,141
受入手数料	－	5,844	5,844	10	5,854
トレーディング損益	－	10,230	10,230	－	10,230
金融収益	12	2,043	2,056	－	2,056
セグメント間の内部営業収益又は振替収益	3,840	16	3,856	122	3,978
計	3,852	18,134	21,987	132	22,119
セグメント利益	3,985	8,034	12,019	17	12,037

（注）「その他」の区分は、証券等バックオフィス事業を営んでいる「岩井コスモビジネスサービス株式会社」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	12,019
「その他」の区分の利益	17
セグメント間取引消去	△3,800
中間連結損益計算書の経常利益	8,237

３．補足情報

（１）受入手数料

①科目別内訳

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自2025年４月１日 至2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自2026年４月１日 至2026年９月30日）
委託手数料	2,649	3,652
（株券）	(2,590)	(3,594)
（債券）	(－)	(－)
（受益証券）	(57)	(57)
（その他）	(1)	(－)
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	148	283
（株券）	(9)	(12)
（債券）	(139)	(271)
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	263	153
その他の受入手数料	1,505	1,765
合計	4,567	5,854

②商品別内訳

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自2025年４月１日 至2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自2026年４月１日 至2026年９月30日）
株券	2,636	3,647
債券	149	284
受益証券	1,746	1,885
その他	36	36
合計	4,567	5,854

（２）自己資本規制比率　岩井コスモ証券株式会社（単体）

（単位：百万円）

		前中間期末 (2025年9月30日)	当中間期末 (2026年9月30日)	前事業年度末 (2026年3月31日)
基本的項目	(A)	55,922	61,331	57,509
補完的項目	(B)	1,361	1,845	1,516
その他有価証券評価差額金（評価益）		822	1,079	887
金融商品取引責任準備金		534	759	622
一般貸倒引当金		4	6	6
控除資産	(C)	7,933	9,640	8,876
固定化されていない自己資本（A）＋（B）－（C）	(D)	49,349	53,537	50,149
リスク相当額	(E)	5,862	7,277	6,573
市　場リスク相当額		705	973	822
取引先リスク相当額		1,111	1,523	1,429
基礎的リスク相当額		4,044	4,780	4,321
自己資本規制比率　（%）	(D)／(E)×100	841.8	735.6	762.8

（３）連結損益計算書の四半期推移

（単位：百万円）

	前第２四半期 (2025. 7. 1 2025. 9.30)	前第３四半期 (2025.10. 1 2025.12.31)	前第４四半期 (2026. 1. 1 2026. 3.31)	当第１四半期 (2026. 4. 1 2026. 6.30)	当第２四半期 (2026. 7. 1 2026. 9.30)
営業収益					
受入手数料	2,456	2,835	4,055	3,136	2,718
委託手数料	1,529	1,669	3,118	2,113	1,539
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	8	160	4	65	217
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	130	194	139	85	67
その他の受入手数料	787	811	793	871	894
トレーディング損益	4,435	4,692	4,422	5,337	4,892
株券等トレーディング損益	4,344	4,653	4,368	5,291	4,872
債券等トレーディング損益	107	63	65	58	13
その他のトレーディング損益	△16	△25	△11	△13	7
金融収益	808	893	902	1,023	1,033
営業収益計	7,700	8,421	9,380	9,496	8,644
金融費用	106	101	126	115	122
純営業収益	7,593	8,320	9,254	9,381	8,521
販売費・一般管理費	4,524	4,807	5,238	5,011	4,984
取引関係費	490	525	746	593	619
人件費	2,595	2,831	3,003	3,023	2,812
不動産関係費	354	365	402	365	378
事務費	727	720	725	690	865
減価償却費	163	158	151	103	74
租税公課	130	132	138	160	146
その他	62	73	69	76	87
営業利益	3,069	3,512	4,016	4,369	3,537
営業外収益	33	209	53	320	32
営業外費用	11	1	24	2	20
経常利益	3,090	3,721	4,045	4,687	3,549
特別利益	438	491	－	563	637
特別損失	－	31	55	205	△67
税金等調整前四半期純利益	3,529	4,181	3,989	5,045	4,255
法人税、住民税及び事業税	1,565	1,015	1,648	1,098	1,893
法人税等調整額	△470	270	△586	549	△560
四半期純利益	2,434	2,896	2,927	3,398	2,922
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,434	2,896	2,927	3,398	2,922